

田んぼで暮らす
グレのおはなし



わたしの名前はグレ。

赤ちゃんの時の毛色がグレーだったからお母さんがそうつけました。

だけど、ほんとは黒い毛に白と茶色の毛が混じる錆柄の猫。

田んぼが見える里山のおうちに住んでいます。

わたしを産んだお母さんがどんな猫だったのか、わたしは知りません。生まれてすぐ、田んぼの脇に兄弟たちと一緒に捨てられていたのを、お散歩途中のわんちゃんが見つけてくれたのです。

わたしとお兄ちゃんを家族に迎えてくれたのは、棚田でお米を作っている家族です。お姉ちゃん2人と保護犬のお姉ちゃんが1匹と、お父さんとお母さん。

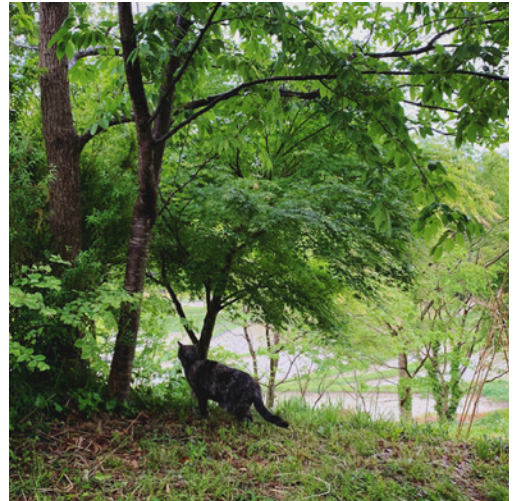


わたしはおうちの中より外にいる方が好き。だって気持ちが良いのです。

風が吹いてお日様がキラキラと輝きます。お花もたくさん咲いて、蜜蜂や蝶々もいます。

わたしは小鳥や野ネズミを捕まえるのが得意です。

でも家族のみんなに見せてあげようとおうちに持って帰ると、みんなびっくりします。



お母さんが田んぼや畑に行くときは一緒について行きます。畑の草むしりや野菜の収穫や、田んぼの田植えや稲刈り。

お手伝いはしないけど、寒い日は日向ぼっこしながら、暑い時は木陰でのんびり待っています。

夕方の散歩にも毎日一緒に行きます。田んぼの脇の道をみんなで歩きます。

夕焼けがきれいな時もあれば雨の日も風の日も。寒い日も暑い日も散歩に出かけます。

猫なのに珍しいねって言われるけれど、お散歩が好きな猫だっているんです。



ある時、遠くの国で戦争が起こりました。

遠くの国ではあったけれど、それは決して関係のないことではありませんでした。毎日悲しいニュースが流れました。

いつも笑っているお父さんとお母さんも、新聞でそのニュースを読むと悲しそうな顔をしました。だからわたしは読めないように、わざと新聞の上に座りました。

戦争というのは人が人を殺すことです。

人は話し合いをすることができるのに、どうして殺し合いをするのですか？

どうして何の罪もないたくさんの人たちを殺してしまえるのですか？



猫は武器を持ちません。
人は武器を使って戦います。
でもそれはずるいことです。

もし他の国の人が攻めてきたら、その人にとって私たち猫も「敵」になっちゃうのかな。
それともニャーと話しかければ仲良しになれるでしょうか。

きつとなれると信じています。
人も猫も、みんな地球に暮らす仲間なのだから。



今日もわたしはみんなとお散歩に出かけます。
田んぼから見える夕焼けがきれいです。

わたしはこの景色が大好きです。



2018年に2匹の子猫を家族に迎えることになるまで、猫を飼ったことがありませんでした。

ご近所さんが捨てられていた子猫を保護したと聞いた時、それまでは全く考えもしていなかったのに、なぜだか急に猫と暮らしたいと思ったのです。

猫との暮らしは想像していたよりも遥かに楽しくて、そして驚くことばかり。毎日いろいろなことを教えてくれます。特にこのお話のグレはいつも寄り添ってくれる優しい子で、それまで持っていた猫のイメージとは全く違っていました。

田んぼでお米を作り、畑で野菜や果樹を育て、季節ごとに自然の恵みをいただきながら、猫や犬やたくさんの生き物たちと暮らす私たちの暮らしは、とても豊かです。毎年同じように、春には種を蒔き苗を育て、雨が降ったら田んぼを作って田植えをし、夏の暑さを越えて秋の実りがあり、草木が眠る冬を迎えます。

でもその当たり前前に繰り返されてきたことが、できなくなってしまうことがあるのだと今年知りました。

ロシアがウクライナに侵攻して、たくさんの人々が当たり前前の日常を奪われました。

都市部への攻撃だけでなく、農村でも大きな被害があった上に、畑に地雷を埋められたり、農機具が壊されたりして、世界有数の穀倉地帯であるウクライナで、小麦や芋の植え付けができないでいるそうです。人々から大切な家族や家だけでなく、農民から農地まで奪ったのです。

なぜ戦争なんて起きてしまうのでしょうか。武器を持って戦うことは何も生み出さない。残るのは悲しみと憎しみだけです。

日本は戦争をしないと約束している国です。その約束を決して変えてはいけないと今強く思います。

武器を持って強い国にならないといけなくとも言う人もいます。でも私は、武器ではなく農機具を増やして、若い農家を育ててほしい。豊かな自然があるこの国で、まずは自分たちの食べるものを自分たちで作る、みんなが自然の恵みを感じながら暮らせる国にしたい。

そして、戦争と武器のない世界にしたい。そんな想いを伝えたくて、猫のグレの目線で、今思うことを書いてみました。

もし同じように感じてくれたら、うれしいです。そしてぜひ誰かにその想いを伝えてください。

草 so

千葉県鴨川市平塚 1639-1

<http://www.so-kurashi.com>

文・写真 畑中美亜子

2022年5月